

越後駒ヶ岳・会津駒ヶ岳

201610/11~13

天候不順で延び延びになっていたDさんの日本百名山登頂のサポート山行に行ってきました。Dさん、Fさんと3名。

10/11 (火、快晴) 安曇野 I C 5:30~9:45 枝折峠登山口 10:05~10:40 明神峠 10:45~12:40 小倉山 12:50~13:45 百草の池~15:15 駒の小屋 (水場で水確保して、軽身で) 15:40~16:00 越後駒ヶ岳 (2003M, 日本百名山) 16:10~16:25 駒の小屋 (泊)

10/12 (水、晴れのち曇りのち雨) 6:50~8:20 小倉山~10:20 明神峠 10:30~10:55 枝折峠P 11:10~ (白銀の湯で入浴、樹海ライン経由) 14:45 桧枝岐村歴史民俗資料館 (見学) ~15:10 民宿 かねほん (泊)。

10/13 (木、曇りのち晴れ) 宿 5:00~5:15 滝沢登山口P 5:30~7:05 水場 7:15~8:40 駒の小屋 8:55~9:20 会津駒ヶ岳 (2133M, 日本百名山) 9:30~9:50 駒の小屋~11:20 水場~ (きのこを採りながら下山) 13:10 登山口P 13:20~ (燧の湯で入浴、只見町経由) 17:50 小出 I C ~21:00 安曇野 I C ~21:30 帰宅。総走行距離 763KM。

当初 12~14 日の予定だったが 1 2 日の新潟中越地方の天気予報が曇りのち雨。急遽 1 1 日発に変更する。結果的に 1 2 日越後駒ヶ岳から下山して白銀の湯に着いた時に雨が降り出した。1 3 日は曇りとガスだったが下山中には青空が出てきた。変更が幸であった。

越後駒ヶ岳の登山道は良く整備されている。

越後駒ヶ岳登山口



越後駒ヶ岳目指して



紅葉も始まっていて気持ちの良い青空で展望を楽しみながら登る。特に2009年10/15に登った荒沢岳を常にすぐ横に見ながら登るので感激、雄大な山だ。

常に荒沢岳を右に見て



中ノ岳への縦走路



アップダウンを繰り返しながら歩くと段々越後駒ヶ岳の山頂が近づいて来る。小屋番が下山して来る。缶ビールが買えなくなってしまった。燧ヶ岳や兎岳・中ノ岳も見える。Fさんが膝の調子が悪くなりペースが落ちたりしたが予定より45分早く小屋着、今日は泊り客は3組の7人でゆったり寝られる。まずは水場へ行き7Lの水を確保する。明日の天気が悪そうなので軽身で山頂へ。

越後駒ヶ岳山頂



八海山を望む

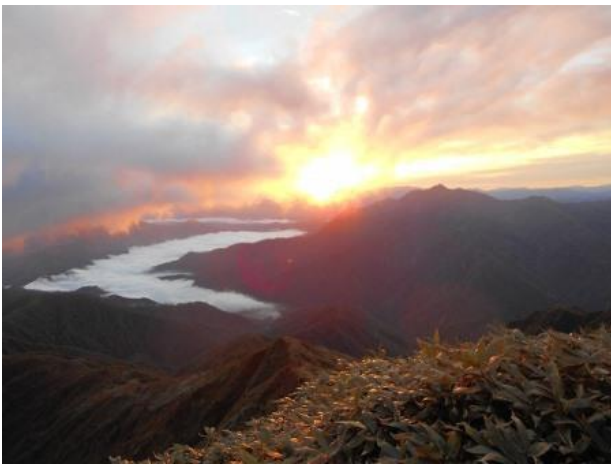


私は3度目、Dさんは93座目の山頂だ。眼前に八海山、N氏と八海山～中ノ岳～越後駒ヶ岳と越後三山を縦走した時の事を懐かしく思い出しながらその時歩いたコースを眺める。感無量。小屋へ戻って果実酒を飲んで、夕食を食べて早く寝る。土日は小屋番が常駐するようだが、2000円の素泊まり料を箱へ入れる。マットと毛布が沢山置いてあって利用できるのも助かる。

トイレはバイオ式で使用后横の自転車をこぐ事が義務付けられている。

10/12、日の出を見に出る。

日の出、上荒沢岳、下は下山道



駒の小屋と越後駒ヶ岳



雲海の奥只見湖上に日の出。今年は元旦に光城山で、7/9に北海道津別峠で、8/12に美ヶ原で、9/10に富士山山頂でと何故か日の出を見る機会が多かった。

朝食後下山開始、キノコを探しながら下るが何故かほとんどみつから無い。
不思議な山だ。今日もツアー含めて25人位の日帰り登山者とすれ違う。白銀の湯に着いて入浴の準備をしていたら急に雨が降り出す。雨に合わないで下山出来てラッキーだった。男湯を一人で独占してユックリ入浴する。洗面台にコップが置いてあって感激、歯を磨くのに便利なのだ。(山小屋では水や環境の関係で歯を磨けないので下山後の温泉で歯磨きを必ずする)休憩室でお湯を貰ってカップ麺を食べてカーブの多い道を桧枝岐村へ向かう。10/5に通った時から紅葉があまり進んでいない。今年は紅葉が遅くてきれいではない。桧枝岐村へ早く着いたので、歴史民俗資料館を見学する。入館料無料で良い。

歴史民俗資料館



館内



信州大鹿村と同じで「歌舞伎」がある。民宿は新しくて、地元産の山菜やイワナが品数多く出て酒のつまみが足らなくなるつまみ食いの小生は大満足した。追加で飲んだ、隣の南会津町の「桧枝岐」は口当たりが良くて美味しかった。桧枝岐村は人口が600人ほど、標高は939M,

沢山の料理が



平均気温が7.7度Cと低くて福島県で唯一寒冷地の為に米が作れない地で酒蔵も無いので、隣町で「檜枝岐」名の酒を造っているのだろう。

10/13 早朝弁当を食べる、大きなむすび2個にイワナの甘露煮等のおかずが多くあって感激して食べる。ミネラルウォーターと楊子までついている。会津駒ヶ岳は登山口からいきなりの急登が始まるがその先はブナ林の気持ちの良い緩やかな登山道になる。但し昔地元の登山者がブナの木の幹にいたずら書き(彫って)した跡が本当に目障りだ。木道が始まると小屋と湿原が近い。

駒の小屋



会津駒ヶ岳山頂



生憎の曇りとガスで展望は全く無。登山者の数は多い、昨夜も小屋はほぼ満杯との事。山頂手前の木道が昨日の雨と今朝の冷え込みで凍結して滑りやすいので持参した「わら縄」を靴に巻いて安全を確保する。

樹氷が



Dさんは専用の滑り止めを装着。この山頂は木があつて展望がないので有名。最近
は隣の中門岳まで足を延ばす人が多くな
ったようだ。Dさん94座目達成、残り6
座になった。天気は回復する気配を感じる

が帰宅時間の関係で早々と下山開始する。案の定青空が出てくるが、キノコを
採りながらユックリ下山する。お目当ては「ナメコ」、ブナの木の下に倒木や立ち
枯れが多いので。案の定見つける。

ナメコ発見



下山後民宿へ寄って温泉の入浴券(法人用
の年間パスポート券で宿泊者用に置いて
ある、村内の3か所の温泉で利用できる、
昨日はアルザ尾瀬の湯へ行った。)をお借
りして燵の湯で入浴・昼食。露天風呂も大

きくて開放的で大満足する。民宿は税込7700円と一見高めだが入浴券を2
回借りたので実質6700円と安い。それにしても小さな村に村営の日帰り温
泉が3つとは信じられないが。電源開発の関係で村にお金が沢山はいるから
か？帰路は小出ICまで35KM距離は長いが運転の楽な只見町経由にする

赤沼健治